

図書館学習サポーター
後期セミナー企画

プレゼンセミナー

実演編

内容

- 自己紹介
- スライドの作り方：実演
- パワポ作成のポイント～自分の経験から～

自己紹介

- 名前：水野椋太(みずのりょうた)
- 所属：現代社会文化研究科(文系)
- 研究テーマ：イギリスの留学生受け入れの歴史

プレゼンのねらい

復習：作り方をおさらいする

実践：作り方にしたがってつくってみる

プレゼンを作る手順

① テーマの設定

② 書き出し

③ ストーリー化

プレゼン案の思案

今回のプレゼンのミッション

自分の研究(留学生研究)に関連した
プレゼンを行え！

プレゼン内容を考える

留意点 私の研究の中から何を伝えたいのか？

イギリスの留学生政策？

グローバル・ヒストリー？

イギリスの歴史？

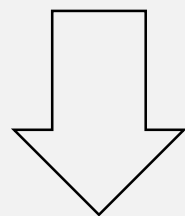
知識基盤社会？

日本の留学生数？

聞き手のことを考える

留意点 誰に伝えたいのか？

今回の聴衆は
自分の研究に詳しくない方々



なるべく身近でつかみやすいテーマが最適か？

内容の決定

2010年代の日本の留学生受け入れが一番良い！

現代だから
テーマが身近！

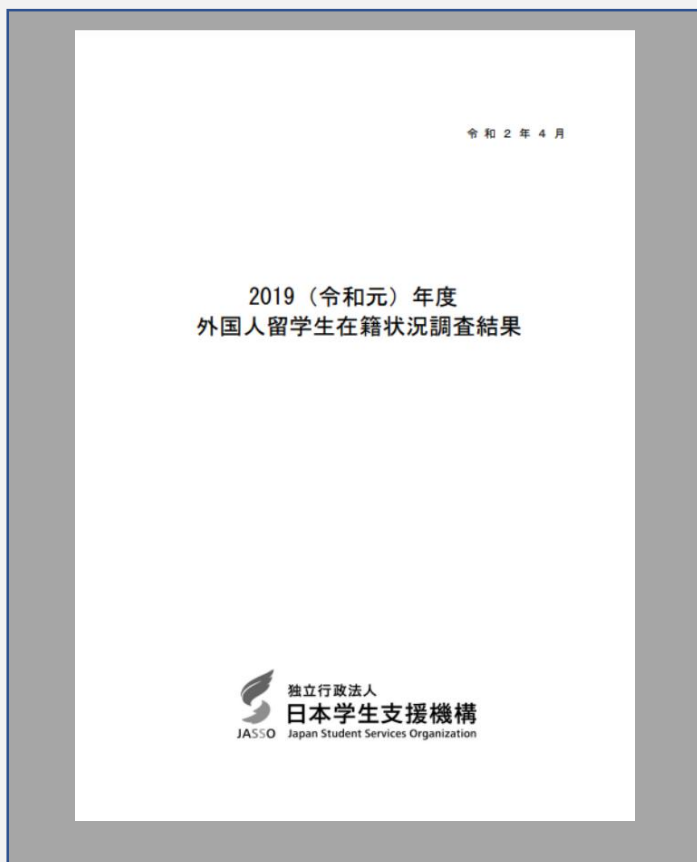
国際化は重要な
テーマ！

日本だから
理解しやすい！

情報を集める

調査

留意点 情報は正確か？



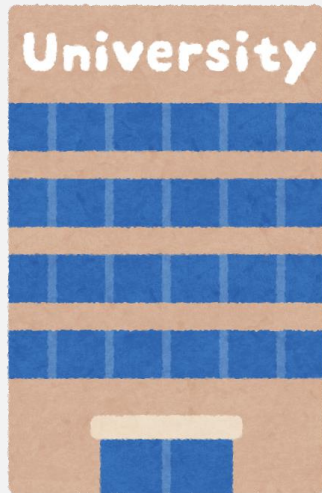
- 日本学生支援機構(2019)『2019(令和元)年度外国人留学生在籍状況結果』

https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2020/08/date2019z.pdf

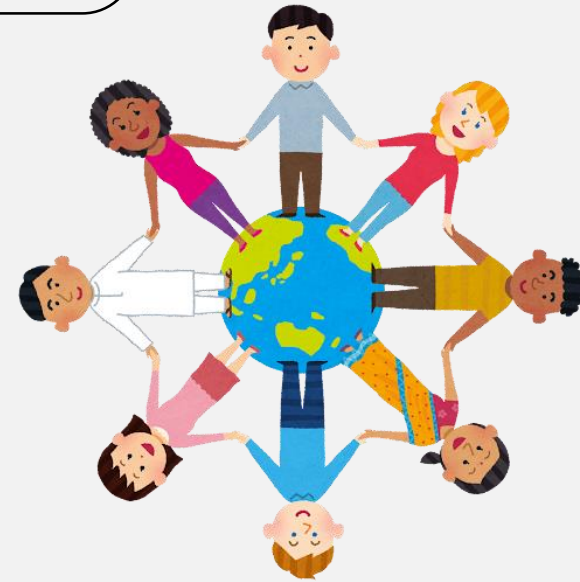
最終閲覧日：2021年11月19日

データをまとめる

調べていると
他のことも気になる…



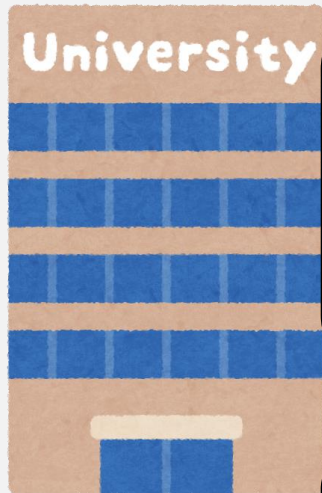
新潟大学の
留学生数



他国の状況

データをまとめる注意点

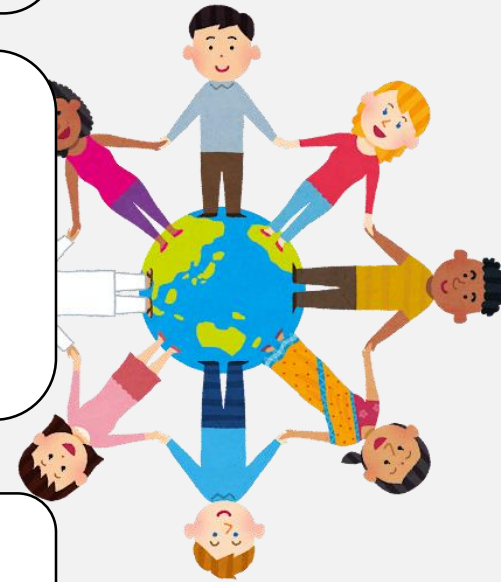
留意点 本筋から外れる情報は加えない！



新潟大学の
留学生数

今回は日本の留学生について
プレゼンを作る

関係ない情報は参考程度に留める



他国の状況

プレゼンのストーリーを考える
る

プレゼンのテーマのおさらい

研究と関連した
テーマのプレゼンを行う

ミッション

2010年代の
日本の留学生受け入れの状況

扱うテーマ

ストーリーを作る

起

- ・はじめに

転

- ・調査結果

承

- ・このテーマを
選んだ理由

結

- ・おわりに
- ・まとめ

はじめにで扱う内容は？

聞き手にそのテーマについての関心をつかむ

テーマを取り巻く昨今の状況を扱う

- ・ 日本留学経験者は～
- ・ 留学の意義は～

日本に留学した著名人

例



魯迅



蔣介石



デーブ・
スペクター

扱う理由を表す

なぜそのテーマを扱うのかを書く

新書・専門書

新聞

そのテーマを扱うことで
どのような有益性がうまれるのかを伝える

例

留学生の受け入れ強化



昨今の大学の国際化に伴い、20xx年に〇〇党の◇◇幹事長は留学生の受け入れ体制の強化を指示

調査結果を示す

転

調べてわかったことを書くのみ！

必要な情報を伝え、 unnecessaryな情報は加えないこと！

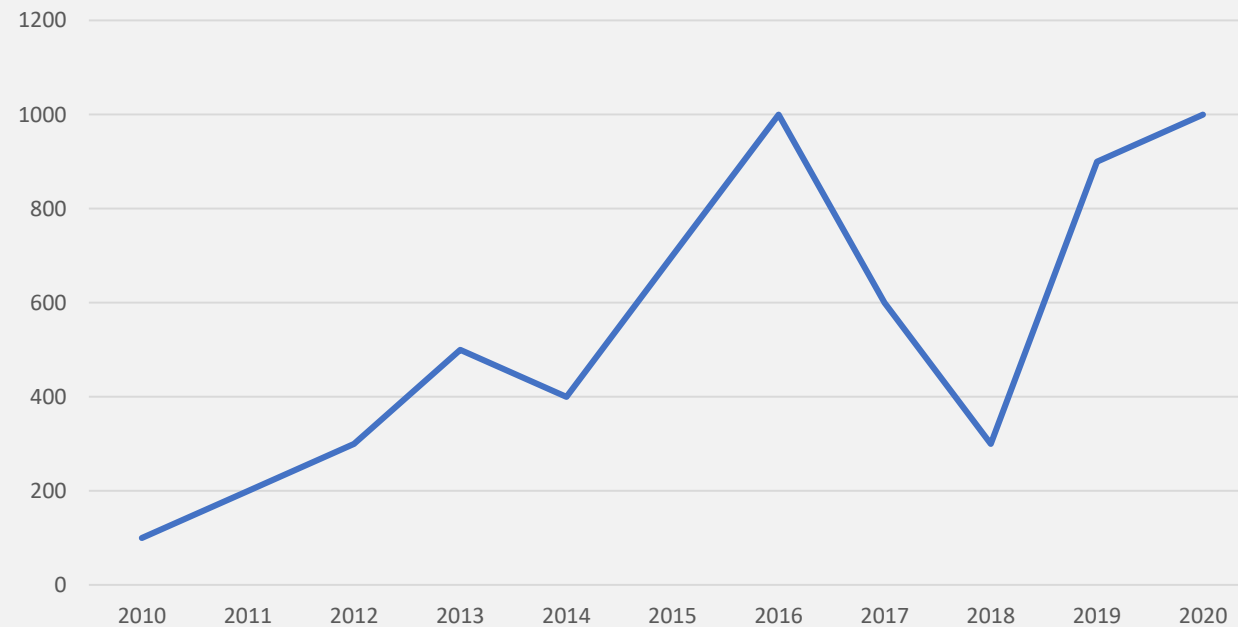
正確な情報を伝えること！

201x～20年までの留学生数

例

留学生数は2015年までは増加傾向だったが、その後は減少した。しかし2018年には下げ止まり、2020年はピーク時の2015年の数まで回復している。

日本の大学に在籍する留学生数(人)



まとめを述べる

結

今回のプレゼンのまとめ・おさらいを書く！

調査から自分の考察や意見を伝えよう！

日本の留学生受け入れの傾向

例

- 日本の留学生数は波があり、今後の留学生数の予想も慎重に行う必要がある。
- 2015年の留学生の減少は〇〇政権下での留学生政策が関係していると考えられる。
- 現在の☆☆首相は留学生の受け入れ強化を訴えているため、今後の留学生数は増加すると考えられるが、上記の通り慎重な判断の下で、対応を取るべきだ。

パワポ作成のポイント

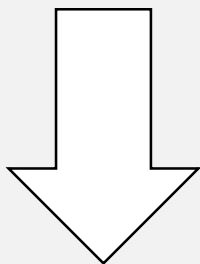
～自分の経験から～

自分の経験から感じたこと

- 図やグラフは積極的に使え！
- すっきりしたパワーポイントをめざせ！

図やグラフを使え！

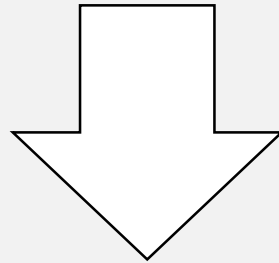
図やグラフが聞き手にイメージを与える



図やグラフの利用が
聞き手の理解のしやすさにつながる

すっきりしたパワーポイントをめざせ！

スライドに字や図が多いと聞き手が混乱する



内容を簡潔にまとめよう

ご清聴ありがとうございました